



# みんなで応援しよう！ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会



東京オリンピックまで あと865日  
(2019年7月25日現在)

東京2020大会に向けて、パラオ共和国のホストタウンであり同国選手団の事前キャンプ地となっている本市で、6月から7月にかけて、柔道及びレスリングチームの事前キャンプが実施されました。本年が、日本とパラオ外交関係樹立25周年の節目となることから外務省の認可を受け「日・パラオ外交関係樹立25周年記念事業」として行い、市内施設等での練習のほか、小・中学生との交流やそば打ち体験等を行いました。

来年の東京2020大会を目指すパラオ共和国選手団をみんなで応援しましょう！



（左から）Jarvis Blesam Tarkong選手(23)、Ismael Aguonコーチ(53) 駐日パラオ共和国大使館フランシス・マツタロウ特命全権大使、Malcolm Gaymann選手(16)

スケジュール	
6/9	本市到着
6/10	市内見学、市長表敬訪問、水戸葵陵高校柔道部と練習
6/11	茨城大学柔道部、水戸啓明高校柔道部と練習
6/12	講道館で実業団選手等と練習
6/13	オリンピック関連施設見学
6/14	第二中学生と交流、県武道館柔道教室参加
6/15	そば打ち体験など
6/16	県柔道連盟主催昇段試験見学、筑波海軍航空隊記念館見学、帰国

## 選手インタビュー

- ①事前キャンプの感想 ②練習はどうでしたか？
- ③柔道（柔道の練習）から学んだことは何ですか？

**ブレサム選手**

- ①とても良いキャンプでした。常陸大宮市に来てからの短い期間にたくさんのことを学びました。
- ②とても満足しました。もっとここでキャンプができればと願っています。
- ③柔道家としての振る舞いがどのようにあるべきか学びました。柔道は人格を高めるためには完璧な武道です。

**マルコム選手**

- ①協力してくださった皆さんが私の柔道がさらによくなるように進んで手助けをしてくださいました。その方たちに感謝するとともに、尊敬もしています。全てに感謝します。
- ②柔道の技のスキルアップと私の柔道への愛が強くなったことを感じる事ができたので、とても満足しています。
- ③柔道の練習をとおしては、常に落ち着き、効率的で的確に力を抑え急がないことを学びました。スポーツとしての柔道は、柔道の深い歴史を尊敬し、敬愛しています。自分の柔道の基準を高く設定しベストを尽くしたいです。

## 第二中学生と交流

選手とコーチが第二中学校を訪れ、2年2組29人の生徒と柔道、給食をとおして交流をしました。選手たちの紹介後、日本とパラオの歴史的なつながりなどの説明がありました。その後、生徒と選手は20秒間抑え込んだ方が勝ちというルールで寝技で対戦。お互いの隙を見極めながらの熱戦が繰り広げられました。参加した生徒は「とても楽しくて、日本とパラオの交流の良い機会になりました。東京オリンピックに出してくれるかもしれないと思うとワクワクしました。」と話していました。



▲寝技で勝負



▲日・パラオ外交関係樹立25周年記念ロゴマーク



▲給食交流



（左から）Jarvis Blesam Tarkong選手(23)、三次真一郎市長、Guy Delmeau Jr.選手(37)、Cristian Nicolescu選手(25)

## 選手インタビュー

- ①事前キャンプの感想 ②練習はどうでしたか？
- ③レスリングの楽しさは何ですか？

**ガイ選手**

- ①素晴らしかったです。いろんな組み合わせの練習や学校を訪れるなど本当に楽しかったです。
- ②学生たちはとても才能があり、技術や細かい部分などを教えてもらって感謝しています。
- ③一生懸命やり結果を出すことに専念しています。レスリングをとおして学んだことは、一生懸命やること、謙虚さとスポーツマンシップです。それは日常生活でも役立ちます。

**クリスチャン選手**

- ①キャンプを本当に楽しみました。皆さんとても親切で寛大でした。私たちにとても親切にくださった皆さんに本当に感謝しています。コーチの皆さんはとてもレベルが高くて学ぶことがたくさんありました。
- ②学生たちのレベルが高く彼らから学べるのが素晴らしかったです。自分がまだ高いレベルにいないことを感じました。また彼らと練習する日が待ち遠しいです。
- ③練習を一生懸命することと謙虚さを学びました。レスリングは絶対に諦めないこと、全てに対してベストを尽くすことを教えてくれます。また、心と体の両方が健やかで強くあることも教えてくれました。

**ブレサム選手**

- ①とても素晴らしい経験で、たくさんのことを学び新しい友達もできました。
- ②学生たちはとてもレベルが高くて親切で強かったです。
- ③一生懸命になれば、何事も成し遂げられることを学びました。

スケジュール	
6/26	本市到着
6/27	市長表敬訪問、大宮西小児童と交流、中央大学レスリング部と練習
6/28	日米親善高校レスリング大会視察
6/29	大子ジュニアレスリングクラブと練習 水戸市・ひたちなか市レスリングスポーツ少年団と交流
6/30	市内見学
7/1	中央大学レスリング部と練習
7/2	市長表敬訪問、大宮西小児童と給食交流、中央大学レスリング部と練習
7/3	美和小児童と交流、中央大学レスリング部と練習
7/4	オリンピック関連施設見学、日本大学レスリング部と練習
7/5	帰国

## 大宮西小・美和小児童と交流

西部総合公園体育館で大宮西小学校3年生62人の児童とレスリング交流をしました。児童たちは、パラオ選手の上に順番に乗ったり、鬼ごっこをしたりと笑顔でマットの上を走っていました。また、後日、児童と友達になった選手が招かれて給食交流を行い、児童たちは選手との再会に大喜びでした。美和小学校では、6年生26人の児童と調理実習をとおして授業体験と給食交流を行いました。それぞれの班で炒め物を調理した後、パラオの代表的な野菜「空芯菜」と豚肉の缶詰「スパム」を炒めた料理をパラオの選手が作りました。児童たちは調理する選手の手元を食い入るように見つめていました。



▲なんて力持ち！（大宮西小）



▲みんな美味しいと言っていました！（美和小）

■問い合わせ■  
企画政策課 東京オリパラ推進室 ☎52-1111(内線310)